

2018年2月16日
日立キャピタル株式会社
日立ウインドパワー株式会社

「第6回[国際]風力発電展 WIND EXPO 2018」に日立と共同出展



風力発電展 日立ブース 外観イメージ

日立キャピタル株式会社(執行役社長兼CEO:川部 誠治/以下、日立キャピタル)と、日立キャピタルグループの風力発電事業会社である日立ウインドパワー株式会社(取締役社長:石田 諭/以下、日立ウインドパワー)は、2018年2月28日(水)から3月2日(金)までの3日間、東京ビッグサイトで開催される「スマートエネルギーWeek 2018」の「第6回[国際]風力発電展 WIND EXPO 2018」(以下、風力発電展)に株式会社日立製作所(執行役社長兼CEO:東原 敏昭/以下、日立)と共同出展します。

風力発電展は、風力発電システムに関する、あらゆる技術、製品、ソリューションが一堂に会する、日本最大級の国際展示会で、「スマートエネルギーWeek 2018」の一環として開催されます。日立ブースでは、「社会の未来を変えるアイデアがここに」をテーマに、「Decarbonization(脱炭素化)」「Decentralization(分散化)」「Digitalization(デジタル化)」の進展によって、超スマート社会の実現をめざす「Society 5.0」を実現するためのエネルギー分野におけるコンセプトである「Utility 3.0」の実現に向けたソリューションやコンセプトを紹介します。日立キャピタルグループは、日立のこのような出展テーマの趣旨に賛同し、日立との協創による風力発電ソリューションを紹介します。

日立キャピタルグループは、日立の重要な金融パートナーとして、同社が注力する社会イノベーション事業の拡大に貢献するため、金融ソリューション機能を強化しています。電力・エネルギー事業では、2014年1月に日立キャピタルと日立の共同出資により設立した日立ウインドパワーを、風力発電分野の中核会社と位置付け、事業計画策定の支援やSPC・ファイナンス組成、EPC、運営・保守までを網羅したソリューションの一括提供をめざしています。

日立ウインドパワーは、洋上風力発電所向け5.2MWダウンウインド型風力発電システムを採用した「鹿島港深芝風力発電所」(茨城県神栖市)をはじめ、関係会社の実績も含めてこれまで日本国内4カ所で風力発電事業を運営しており、これらの経験を活かして洋上風力発電事業への参画を推進していきます。

■風力発電展 日立ブース(場所:東5ホール/小間番号 E39-28)の見どころ

本ブースでは、メインステージを設け、日本の厳しい自然環境に対応した日立のダウンウィンド型風力発電システムの特長やお客さまとの共同事業などを紹介します。また、展示会場では、5.2MW のダウンウィンド型風車の 50 分の 1 モデルを使ったジオラマや長期保守契約、予兆診断などのサービスソリューション、送電ロスが少ない長距離送電を実現する高圧直流送電システム(HVDC)、事業運営とファイナンスを組み合わせた風力発電ソリューションなどを紹介します。

<出展会社>

株式会社日立製作所、日立 ABB HVDC テクノロジーズ株式会社
[共同出展]日立キャピタル株式会社、日立ウインドパワー株式会社

■関連情報

2018 年 2 月 14 日付 株式会社日立製作所ニュースリリース

<http://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2018/02/0214a.html>

日立ブース専用 Web サイト

<http://www.hitachi.co.jp/sgwind-expo2018/>

「第 6 回[国際]風力発電展 WIND EXPO 2018」公式 Web サイト

<http://www.windexpo.jp/>

■報道機関お問い合わせ先

日立キャピタル株式会社

経営企画部 ブランドコミュニケーショングループ [担当:川島]

〒105-0003 東京都港区西新橋一丁目 3 番 1 号

TEL 03-3503-2118 (直通)

以上